

南部地域公共交通網再編について

1. 南部地域における公共交通網再編の考え方（案）

既存の南部ルートを運休させた第3期社会実験運行を令和5年4月からの実施を目標

- ①西部臨海部も含めた近鉄弥富駅南口との急行便を運行し、南部ルートの利用者特性の1つである通勤・通学需要に対応する
- ②高齢者を中心とした買い物や通院等への需要に対応するため、デマンド運行を取り入れるなど、効率的な運行を図る
- ③再編後の運行経費は現状と同程度を目標とする

⇒令和2年度のきんちゃんバス全体では5台で運行しており運行経費は年間約9,400万円

⇒南部ルートは2台、4名体制で運行しており年間約4,500万円

⇒運行経費の多くは運転手等の人件費が占めているため、運転手数や運転手の拘束時間（運行時間帯）で概ねの運行経費は決まってくる

2. 公共交通網再編イメージ（第1案）

- ◆朝夕の時間帯は弥富駅南口～西部臨海部で路線型運行（2台程度で運行）
- ◆日中の時間帯はデマンド運行を導入（2台程度で運行）

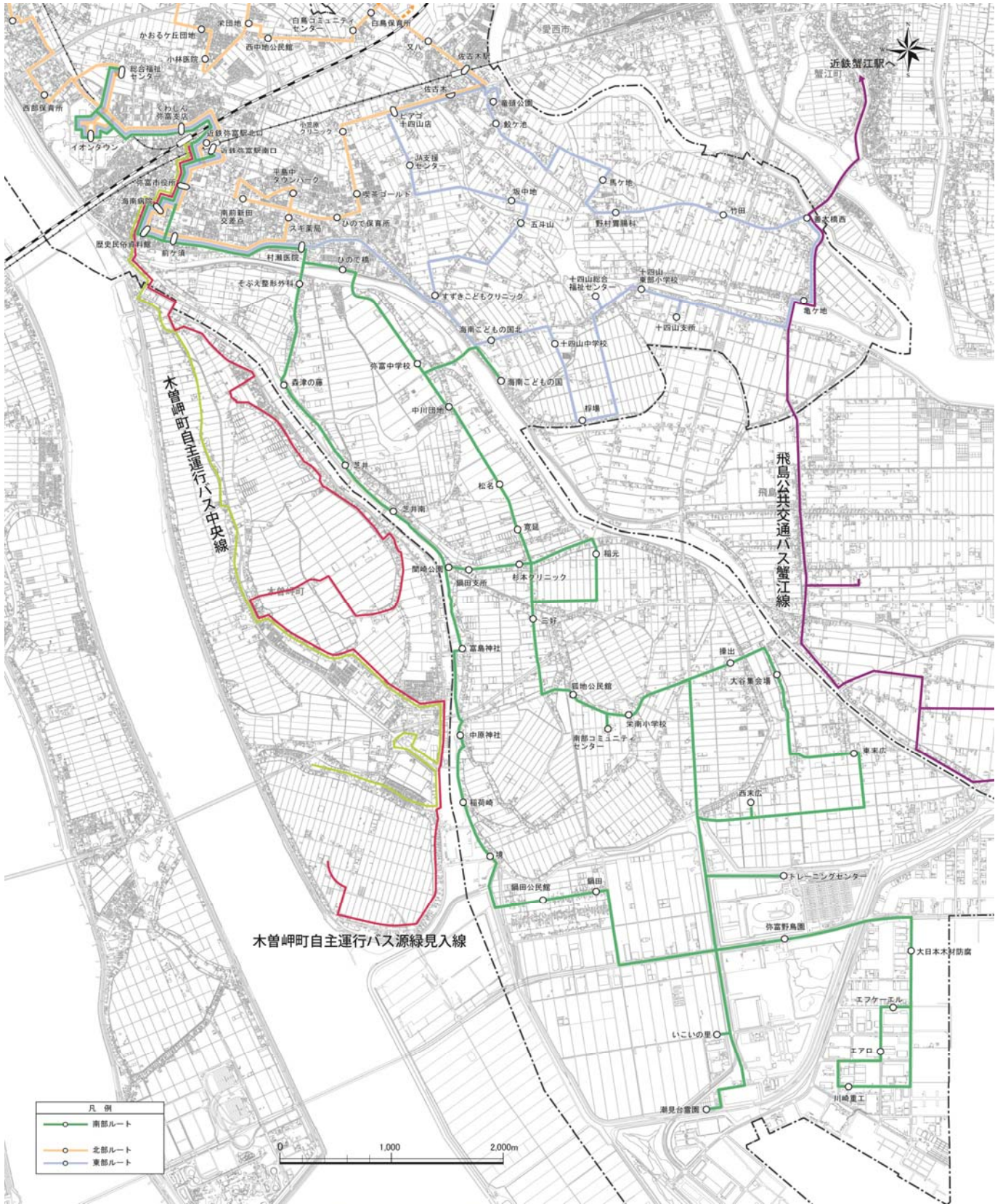
路線型運行について

- ◆通勤・通学需要に対応（平日運行）
- ◆第2期運行の利用状況を踏まえ停車バス停やダイヤ調整を実施
- ◆料金体系は既存きんちゃんバスと同一（一般200円）

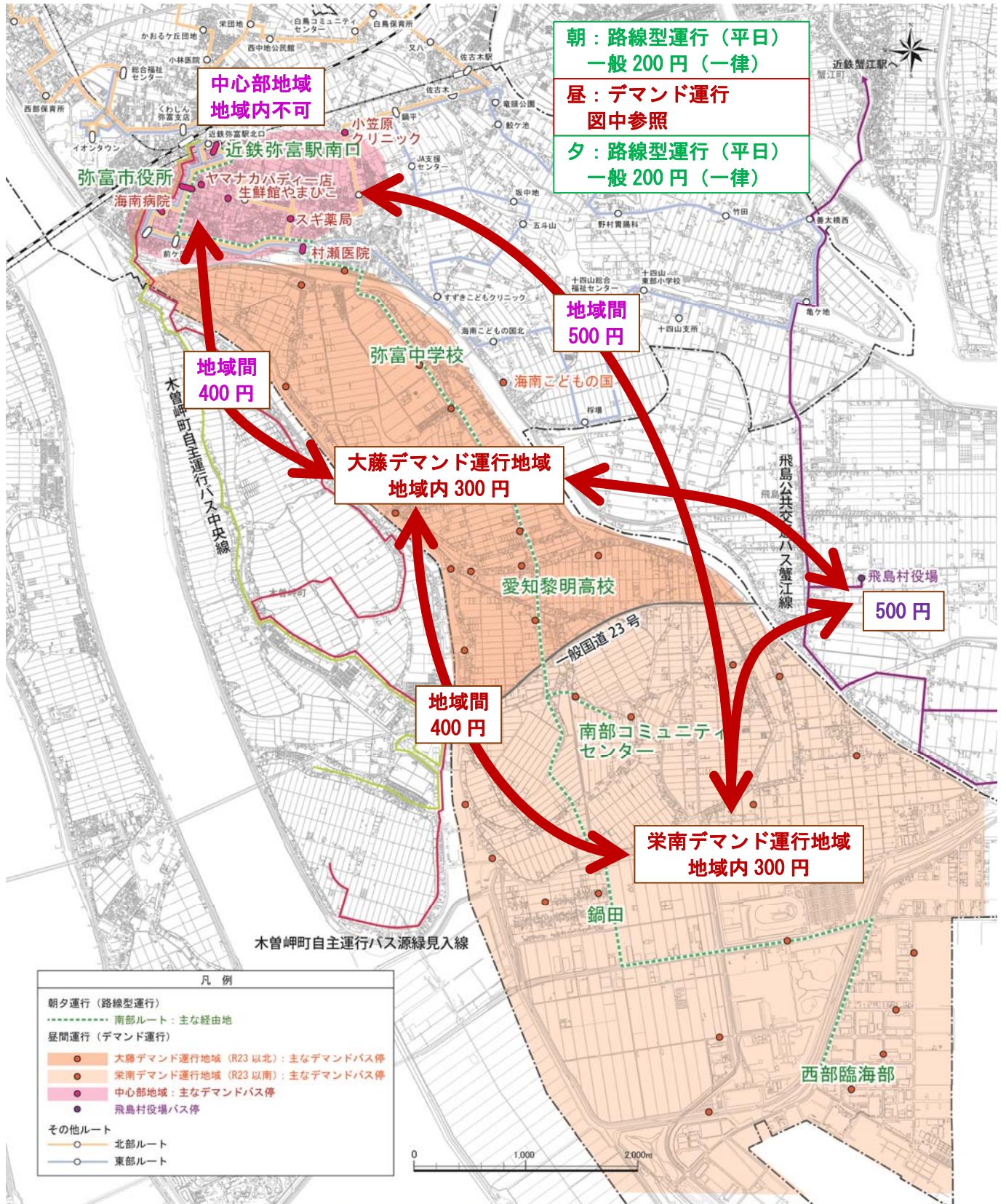
デマンド運行について

- ◆買い物、通院、公共施設利用等の需要に対応
- ◆南部地域を2つの地域（大藤、栄南）のほか、中心部地域と飛鳥村役場バス停の3地域1バス停に区分
- ◆南部地域の2つの運行地域内にバス停を設置（既存バス停+ α 。子ども連れの方なども行きやすいように海南こどもの国バス停を大藤エリアとみなす）
- ◆中心部地域は既存バス停のほか、商業施設や病院などを中心にバス停を増設（中心部地域内々での乗降不可）
- ◆デマンドは目的地に応じて300～500円程度
地域内：300円、隣接地域間：400円、それ以外500円等
他ルートとの乗り継ぎ割引についても今後検討
- ◆利用者の制限なし（地域外の方でもいこいの里等の利用をしやすい）
- ◆運行日やダイヤ設定の有無なども含め、詳細については今後も継続して検討

◆現在の南部地域公共交通網



◆再編後の南部地域公共交通網案のイメージ（第1案）



3. 公共交通網再編イメージ（第2案）

- ◆大藤学区を中心とした地区は路線型運行を維持（2台程度で運行）
- ◆栄南学区を中心とした地区はデマンド運行を導入（1～2台程度で運行）

大藤学区

- ◆路線型運行で市中心部など近鉄弥富駅方面への移動を支える
- ◆運行距離を短くすることで運行頻度の増加を図る
- ◆現在の南部ルートと同程度の運行時間帯で運行
- ◆西部臨海部への通勤需要に対応した運行として、一部、現在の西部臨海便程度の頻度での運行も実施（南部3便、南部8便、南部12便）
※現在社会実験中のような急行便の頻度での運行無
- ◆愛知黎明高校のバス停を維持し通学需要に対応
- ◆料金体系は既存きんちゃんバスと同一（一般200円）

栄南学区

朝の時間帯

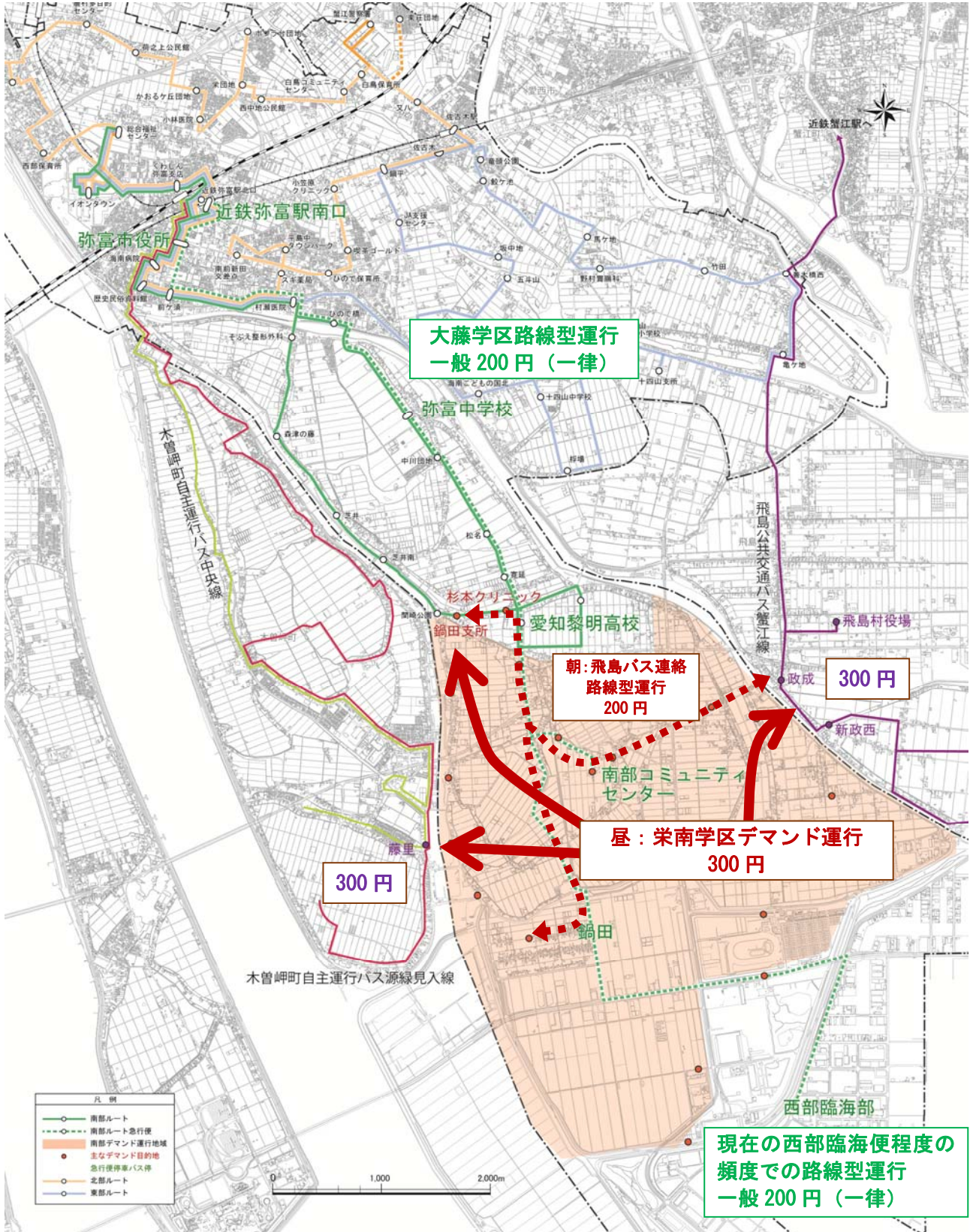
- ◆鍋田支所や鍋田公民館、南部コミュニティセンターなど主要なバス停と飛島バス滞留所を結ぶ路線型運行により、近鉄弥富駅方面に加え近鉄蟹江駅方面への通勤通学の移動を支える
- ◆デマンド運行に使用する車両を活用
- ◆料金体系は200円程度

日中の時間帯

- ◆デマンド運行により、他路線との連携しつつ近鉄弥富駅方面のほか近鉄蟹江駅方面への移動を支える
- ◆栄南学区を中心としたデマンド運行地域内にバス停を設置（既存バス停+ α 増設）
- ◆他路線との乗り継ぎバス停を設定
 - ・大藤学区路線型運行：鍋田支所、杉本クリニックなど
 - ・飛島公共交通バス蟹江線：飛島村役場、政成、新政西など
 - ・木曾岬町自主運行バス：藤里など
- ◆デマンド運行の利用者の制限なし（地域外の方でもいこいの里等の利用をしやすい）
- ◆料金体系は300円程度

※運行日やダイヤ設定の有無なども含め、詳細については今後も継続して検討

◆再編後の南部地域公共交通網案のイメージ（第2案）



4. 公共交通網再編イメージ（第3案）

- ◆既存の路線型運行を維持
- ◆日中の時間帯はデマンド運行も導入

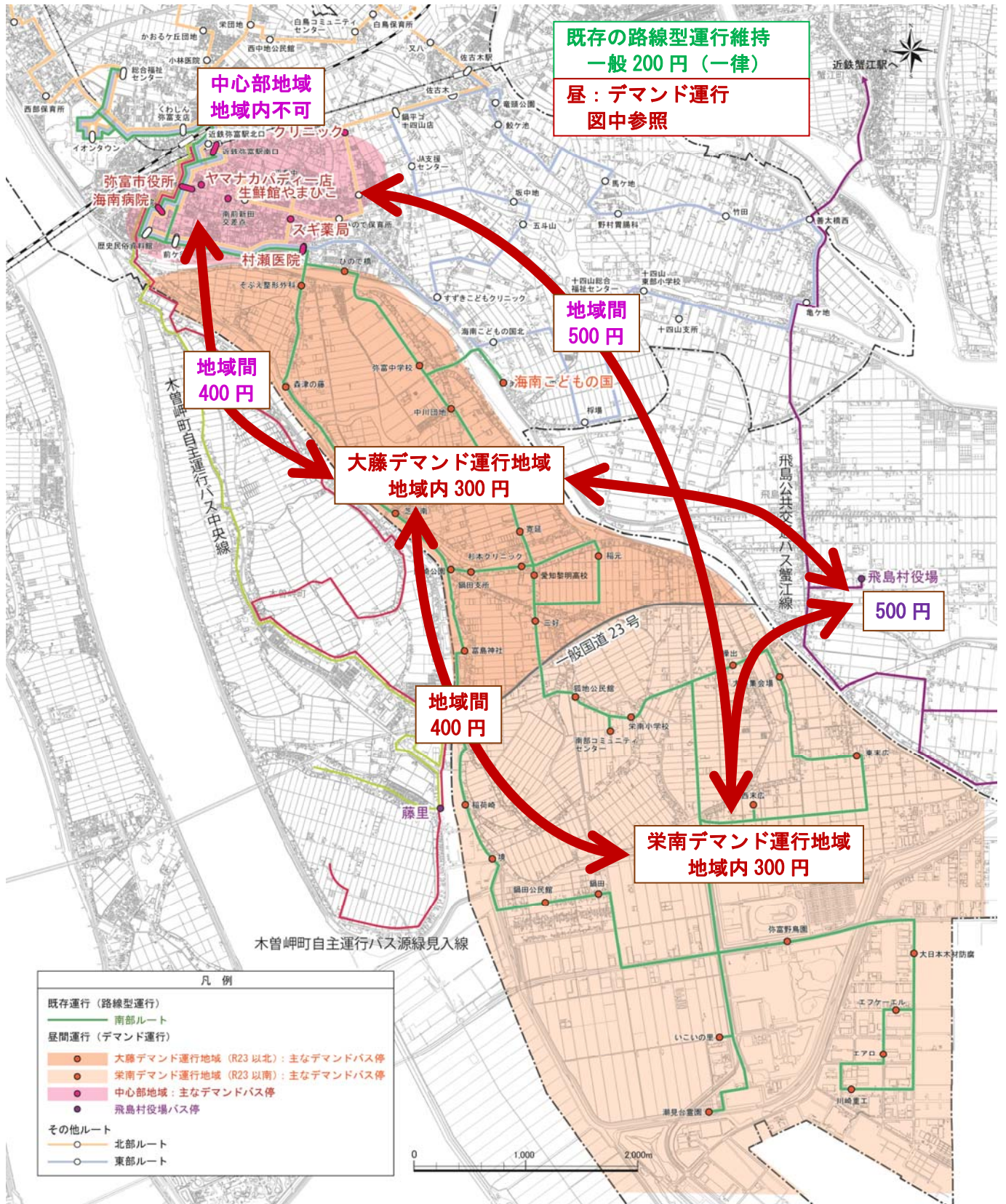
路線型運行について

- ◆現在の運行を維持

デマンド運行について

- ◆第1案と同様
- ◆第1案よりも運行頻度を下げ（週2回程度）、お住まいがバス停まで遠い方の買い物、通院、公共施設利用等の需要に対応

◆再編後の南部地域公共交通網案のイメージ（第3案）



5. 南部地域の公共交通網再編スケジュール案

検討項目	実施スケジュール(年度)																
	R3年度			R4年度												R5年度	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~	
地元調整				適宜意見交換会開催												周知を兼ねた説明会	
周辺自治体等 関係機関調整				適宜調整													
路線・運行方法検討	—————→																
ダイヤ検討							—————→										
運行事業者選定							————→										
時刻表作成等準備、 周知活動													————→				
協議会			→				→					→			→		
運行許可等申請													————→				
社会実験運行	第1期			第2期													第3期
運行評価	————→			————→													————→